

2022年度 授業改善アンケート第2Q/前期「教員コメント（学生に対するフィードバック）」

| 講義名 | 期間名 | 氏名 | 学生自由意見記述 |
|---------------|-----|-------|---|
| こころの科学 | 2 Q | 吉澤 英里 | まずは、アンケートに回答をいただきありがとうございました。いただいたご意見は次年度に活かします。授業中も毎回、皆さんから要望や質問を受け付け、次の授業の冒頭にフィードバックをしていました。そのフィードバックから、授業内容の受け取り方や感じ方、環境との相性には個人差が大きいことがお判りいただけたかと思います。大講義室での一斉授業であるという制約上、「あなた」の要望を100%かなえることはできませんが、次年度以降も平均値を目指して試行錯誤していきます。ありがとうございました。 |
| 法学入門 (M) | 2 Q | 青山 浩之 | 法学入門は、第2クォーター火曜日4講目と金曜日5・6講目の科目で、履修者14名、平均出席者31名（平均出席率80%）という状況で、回答者が13名であった。授業スキルの評価は、特に設問1「シラバス」設問5「資料・教科書」では好評価を受けた。授業の全体印象に関する評価では、とくに設問8「理解度」設問9「熱意をもって授業に取り組んだ」については好評価であった。設問11「自由記述」では「改めて勉強できて目標へ進む鍵」との意見に、これからも興味や関心を持てるように工夫していきたい。 |
| 法学入門 (S) | 2 Q | 大倉 司 | 「法とは何か」について1年次の学生さんに十しっかり理解してもらえるためには、十分な時間が取れなかったのではないかと反省しています。 |
| 法学入門 (D・A) | 2 Q | 青山 浩之 | 法学入門は、第2クォーター火曜日4講目と金曜日5・6講目の科目で、履修者14名、平均出席者12名（平均出席率85%）という状況で、回答者が13名であった。授業スキルの評価は、設問1「シラバス」設問2「話し方」では好評価を受けた。授業の全体印象に関する評価では、設問8「理解度」設問9「熱意をもって授業に取り組んだ」については好評価であった。パワポの投影スライド、配布資料を見やすく改善し、1年生の履修科目であるので、興味や関心を持てるように工夫していきたい。 |
| 政治学入門 | 2 Q | 後藤 啓倫 | 受講生の皆さん、授業大変お疲れさまでした。この度はアンケートの回答にご協力いただきありがとうございました。授業をしっかりと聞いたうえでコメントを本当にありがとうございます。皆さんからいただいた貴重なご意見を、今後の授業に生かしてまいりたいと思います。皆さんのコロナ対策のおかげで、対面で授業を終えることができたことを嬉しく思います。あらためて感謝申し上げます。 |
| 日本国憲法 (M) | 2 Q | 青山 浩之 | 日本国憲法は、第2クォーター木曜日1講目と金曜日4講目の科目で、履修者79名、平均出席者62.6名（平均出席率79%）という状況で、回答者が68名であった。前年より平均出席率が7%減少と出席状況が悪かった。授業スキルの評価は、特に設問1「シラバス」設問2「進め方」設問4「板書等」設問5「資料・教科書」では好評価を受けた。授業の全体印象に関する評価では、とくに設問9「熱意をもって授業に取り組んだ」については好評価であった。さらに設問10「全体満足」は好評価を受けました。設問11「自由記述」では「配布プリントの復習欄をもっと簡潔に」と指摘を受けたので、これからも興味や関心を持てるように工夫していきたい。 |
| 日本国憲法 (S・D・A) | 2 Q | 後藤 啓倫 | 受講生の皆さん、授業大変お疲れさまでした。この度はアンケートの回答にご協力いただきありがとうございました。授業をしっかりと聞いたうえでコメントを本当にありがとうございます。皆さんからいただいた貴重なご意見を、今後の授業に生かしてまいりたいと思います。皆さんのコロナ対策のおかげで、対面で授業を終えることができたことを嬉しく思います。あらためて感謝申し上げます。 |
| 数学入門 | 2 Q | 横山 哲也 | 学生が聞き取りやすい話し方の工夫を行う。 |
| 環境学入門 | 2 Q | 吉田 淳一 | 講義の内容・資料・説明等については概ね肯定的に受け止めていただいたようですが、講義中の音声について、講義室の反響や音声の大きさ・明瞭度等に関するコメントがあります。昨年度の反省から講義開始前に大講堂の音量セッティングを調整した結果、改善が見られたところもあるようですが、まだ不十分なので、一層の改善を図る必要があると思います。レポート課題について、自分で考えて書くレポートで提出回数も多く、レポートフィードバックが全体的なことしかできませんでしたが、学生諸君は丁寧に応えてくれたと考えます。最終レポートの提出が講義最終日になりフィードバックができなかったので、改善したいと考えます。 |
| 基礎英語Ⅰ (M-1) | 2 Q | 信濃 吉彦 | 英語の基本的構造を理解し、今後の授業理解に役立ててほしいのだがなかなか理解できていないようだ。基礎英語Ⅱの講義内でうまくバランスをとりながら頑張ってもらいたい。 |
| 基礎英語Ⅰ (M-2) | 2 Q | 岡島 徳昭 | パワーポイントが見づらいとの指摘があったので、文字の大きさや使い方等工夫が必要と考えます。 |
| 基礎英語Ⅰ (M-3) | 2 Q | 石田 暁子 | 課題が多いことに不満が出ることを予想していましたが、全く触れられていませんでした。家での予習も授業中も頑張ってくれました。 |

| | | | |
|-------------|-----|--------|---|
| 基礎英語Ⅰ (M-4) | 2 Q | 井坂 肇 | 授業の理解度が学生によってバラつきがあり、特に英語が苦手な生徒にとっては難しい講義となってしまった。講義のペースとしては問題なかったと思われるので、余裕のある学生がより良い学びを得られるように自習用の課題プリントを配布して練習問題を多く行い理解を促していきたい。英語が苦手な学生にも興味を持ってもらえるよう英語を題材とした映画やドラマ。アニメを授業で取り入れていきたい。 |
| 英語入門Ⅰ (M) | 2 Q | 石田 暁子 | 学生によって授業の受け止め方が様々でしたので、改めて授業進行の難しさを感じます。試験結果には大事な語彙の定着がよかったことが表れていました。授業の始めに前回の授業の復習を取り入れたことが一因だと思います。 |
| 英語入門Ⅰ (S) | 2 Q | 横田 肇 | 項目によって評価にばらつきがあり、一部低評価があったことは残念である。特に関心が持てなかったという点は留意される。英語に対する関心はあっても私の授業のやり方が悪く関心を失っているということもあるので、今後改善を図りたい。教室が暑く、学習環境が悪いという指摘があり、要考慮である。学力のばらつきの解消も考えたい。いずれも次回より即実行である。 |
| 英語入門Ⅰ (D・A) | 2 Q | 宮嶋 達也 | 英語が堪能な留学生（香港）との授業ペースやレベルなど一般学生と合わせていくことに苦慮したが、発話ペースの授業スタイルに慣れ、使える英語として今後役立てほしい。 |
| 中国語入門Ⅰ | 2 Q | 孫 暢 | 「授業の良かった点」について、室外活動／ゲームを通して、授業を楽しめたことでしたので、来期もこのようなみんなを楽しめる授業を作りたいと思います。ところが、「板書が汚い」、「教科書の内容と違う」という改善すべき点もありましたので、これから改善に組み立てていきたいと思います。 |
| 日本語Ⅰ (留学生) | 2 Q | 佐藤 恵利 | 今回の授業では、文法の理解を確認する時間が少なかったように思うので、確認の時間をきちんと設け、正しく文法を使えているかどうかかわかった上で進むよう工夫をしたいと思います。 |
| 社会保障Ⅱ | 2 Q | 大倉 司 | 「社会保障Ⅱ」の授業は少子高齢化のなかで国民皆保険・皆年金体制をいかに維持し、さらに世代間の公平を確保していくかというテーマと向き合う内容でしたので、1年生の皆さんには難しいと感じる部分もあったと思います。しっかり自宅学習を重ねて授業に臨んで下さった学生さんがいた反面、まったく準備することなく消極的な姿勢で出席していた方も少なからずいて、社会保障についてみんなで一緒に考えて行くという授業展開には限界があったことを残念に思い、反省材料となりました。 |
| 心理学と心理的支援 | 2 Q | 吉澤 英里 | まずは、アンケートに回答をいただきありがとうございました。いただいたご意見は次年度に活かします。授業中も毎回、皆さんから要望や質問を受け付け、次の授業の冒頭にフィードバックをしていました。今年度は特に「授業内容が難しい」という意見が多数出ました。それを受けて昨年度よりも内容を圧縮し、途中で休憩を挟むなどの工夫をしてきましたが、最後まで「難しい」の声をなくすことができなかったのが反省点です。 |
| 高齢者福祉 | 2 Q | 櫻井 美帆子 | 法や制度が盛りだくさんで、混乱してしまうような部分があったかもしれませんが、あいまいになってしまった部分などありましたら、気軽にいつでも聞きに来てください。 |
| 就労支援サービス | 2 Q | 畠山 明子 | アンケートへの回答ありがとうございました。今後とも、参加型の授業を通じて学生の皆さんの理解度が深まるよう、教材の工夫等をしていきたいと思えます。 |
| 更生保護制度 | 2 Q | 大倉 司 | 4年次の選択科目ということで履修者は社会福祉士国家試験を受験される方に限定されたようですが、授業は必ずしも国家試験の問題を意識したのではなく、社会福祉の観点から更生保護の目的や仕組みを説くものでしたので、国家試験の準備として履修された方には必ずしも満足できない内容だったかもしれません。 |
| 色彩環境論 (D) | 2 Q | 北嶋 洋一 | スライド教材について、教室環境への配慮に足りなかったと思われる。次年度に向けて更新したい。 |
| 色彩環境論 (A) | 2 Q | 北嶋 洋一 | スライド教材について、教室環境への配慮に足りなかったと思われる。次年度に向けて更新したい。 |
| 西洋美術史Ⅰ | 2 Q | 竹内 美帆 | ハイブリッド方式で実施し対面とオンラインの受講学生の対応が必要であったため、どちらかに待ち時間が生じてしまったりスムーズにいかない点多々あったかと思いますが、本授業を通して美術作品に関心を持ってくださった学生さんが多かったようで良かったです。授業内の小テストの実施方法や回数、難易度などについて改善の余地があると思いますので、次回の授業ではより理解度が高まる実施方法に変更したいと思います。 |
| 建築材料 | 2 Q | 小笠原 健 | 板書の文字が読みづらかったようです。限られた講義時間での板書となりますが、今後は、もっと丁寧な板書に心掛けたいと思います。定期試験の結果から、概ね講義の理解度は確保できたものと思います。専門科目の基礎科目として修得したスキルを今後の専門科目に役立ててもらいたいと思います。 |

| | | | |
|---------------------------|-----|--------|---|
| 建築構造力学Ⅰ | 2 Q | 長森 正 | 授業評価アンケートのご協力ありがとうございました。アンケートの理解度では90%以上の方が理解できたと回答がありました。また板書の文字が小さいとの指摘があり改善します。授業時間内での演習問題を増やし、理解度を確認しながら丁寧な授業進行に努めます。 |
| 建築設備Ⅰ | 2 Q | 君 興治 | 2級建築士試験などでは出題される範囲が少ない部分ではあるが、実際の業務にかかわると、設備がない建築物はほとんどなく、将来的に少しでも設備の知識にふれておくことができればいいと思い、座学の授業でありながら作図する部分を多く取り入れています。今後は、もっと画像を多く学生に見せるように教材を増やしていきたいと思います。 |
| 建築施工 | 2 Q | 小笠原 健 | 建築学科の必修科目かつ建築士試験の主要科目の一つとして、実践型の講義を心掛けて実施してきました。概ね二級建築士試験の施工分野については、合格レベルに近いスキルが身についたと思います。もっと、問題集と解説ならびにテキストを熟読して、繰り返し予習復習を徹底できれば、建築士試験対策にも有効と思料します。 |
| スポーツマネジメント論 | 2 Q | 信濃 吉彦 | スポーツマネジメントの全体像からの絞った内容になっていたはずである。予習復習を怠らずきちんと理解して欲しい。 |
| スポーツマネジメント論 (SP) | 2 Q | 信濃 吉彦 | スポーツマネジメントの全体像からの絞った内容になっていたはずである。予習復習を怠らずきちんと理解して欲しい。今年度は一般学生よりSPコースの学生の方が成績が悪かった。教職に関する認識が甘いと言わざるを得ない！ |
| キャリアデザインⅠ (M) | 2 Q | 山本 一彦 | 大講堂での大人数授業のこともあり、授業中の受講者の落ち着きを維持することに苦労があった。ホワイトボードへの板書では文字が薄くなりがちで、後方では見にくかったのではと危惧される。次年度以降、何らかの工夫を試みたい。 |
| キャリアデザインⅠ (S・D・A) | 2 Q | 山本 一彦 | 授業理解は概ね良好と結果からは受け取れるが、「難しかった」という回答もあり、今後の課題としたい。1年次配当科目ではあるが、「働く者、仕事をする者」としての自分をより意識できるような事例の用い方を工夫したい。 |
| 社会福祉の原理と政策Ⅱ | 2 Q | 小早川 俊哉 | シラバスを満たさなければならないため、授業の進捗スピードには制約があります。授業中は、画面の書き取りよりもポイントの把握に集中してください。ポイントは赤字表記で、何度か繰り返し説明しています。パワーポイントも授業終了後にアップロードしています。Ⅰの授業でもお伝えしたように、授業・試験は教員とのコミュニケーションです。教員が、授業を通して何を伝えようとしているか、その意図を理解してください。質問にはいつでも応えます。 |
| ソーシャルワークの理論と方法 (専門) Ⅱ | 2 Q | 櫻井 美帆子 | 反応が良い学生が多くて授業が進めやすかったです。ご協力ありがとうございました。「皆に質問等もっとふって切ると良い。」とのアドバイス、ありがとうございます。参考にします。 |
| ソーシャルワークの理論と方法 (専門) Ⅱ (M) | 2 Q | 櫻井 美帆子 | 興味関心が薄い内容も多々あったのではと推察します。それにもかかわらず、今回の経営の学生は、態度やマナーが良く授業が進めやすかったです。 |
| 精神保健福祉の原理Ⅰ | 2 Q | 西野 克俊 | 満足度として、とても満足できた45%、十分満足できた32%、満足できた18%となっており、一定程度満足していただけた内容になっていると実感しました。学生の理解度も同数値に近い状態となっているため、今後も工夫をしながら、さらなる向上を図りたいと思います。 |
| 保育者論 | 2 Q | 吉江 幸子 | 保育者論の履修、お疲れ様でした。アンケートも高評価をいただいたこと、嬉しく思います。スライド画面をノートに移すのは面倒だなと思っている学生もいるでしょう、資料を配ってくれば、と。確かにそうですね、でも受講してくれた皆さんは手作りのノートで定期試験に臨んでくれています。自分のノートをしっかりと作り込むことで、ノート持込可の試験も高得点がねらえます。ただし、箇条書きのスライドをそのまま移していてもいざ”説明せよ””述べよ”という文章化を求めた試験問題だと苦労することになります。授業内容を理解できていれば文章にもできるはずですが。グループワークも好評でしたので今後も続けたいと思います、話す力・聞く力を身につけていきましょう。 |
| 肢体不自由者の心理・生理・病理 | 2 Q | 坂上 俊樹 | 全体を通して、良い評価をいただいておりますが、時間配分や配布資料等についてはもう少し工夫の余地があるようです。第1回目から、教育実習などで欠席をやむなくされた学生が2割ほどいましたが、その穴を埋めながらよく学んでくれました。さすが4年生です。 |
| 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ | 2 Q | 西野 克俊 | 満足度として、とても満足できた56%、十分満足できた22%、満足できた22%となっており、一定程度満足していただけた内容になっていると実感しました。今後も工夫をしながら、さらなる向上を図りたいと思います。 |
| 子どもの食と栄養 | 2 Q | 湯浅 頼佳 | 概ね良い評価を頂きましたが、今後は受講生全員から一番良い評価を頂くためにいろいろな角度から試みる必要があるかと存じます。来年度はその点に着目し授業を展開してゆく所存です。 |

| | | | |
|---------------|-----|--------|--|
| 病弱教育 | 2 Q | 千葉 聡美 | 病弱教育を中心にシラバスを作成したが、他障害と被るところも多く、病弱教育に特化しきれていない部分があった。また既習の内容も重複していたと思う。実際の教育現場を見せたかったが、コロナ禍で訪問が不可であること、保護者感情に配慮して最近の授業動画を入手できなかったことが重なり、古い映像での疑似体験となってしまった。状況が許せば学校訪問をしたかった。 |
| 発達障害等教育総論 | 2 Q | 堀川 厚志 | この度の履修生は、とても前向きで積極的に受講する履修生でした。引き続きわかりやすい資料、進行等に努めます。自主発表の機会設定については、可能な限り取り入れたいと思います。 |
| 社会思想史 (M) | 2 Q | 後藤 啓倫 | 受講生の皆さん、授業大変お疲れさまでした。この度はアンケートの回答にご協力いただきありがとうございます。授業をしっかりと聞いたうえでコメントを本当にありがとうございます。皆さんからいただいた貴重なご意見を、今後の授業に生かしてまいりたいと思います。皆さんのコロナ対策のおかげで、対面で授業を終えることができたことを嬉しく思います。あらためて感謝申し上げます。 |
| 社会思想史 (S) | 2 Q | 後藤 啓倫 | 受講生の皆さん、授業大変お疲れさまでした。この度はアンケートの回答にご協力いただきありがとうございます。授業をしっかりと聞いたうえでコメントを本当にありがとうございます。皆さんからいただいた貴重なご意見を、今後の授業に生かしてまいりたいと思います。皆さんのコロナ対策のおかげで、対面で授業を終えることができたことを嬉しく思います。あらためて感謝申し上げます。 |
| 日本文化史 (M) | 2 Q | 及川 琢英 | 授業内容について、さらに見直し、より良いものとしていきたい。 |
| 日本文化史 (S) | 2 Q | 及川 琢英 | 授業内容について、さらに見直し、より良いものとしていきたい。 |
| 身体表現 | 2 Q | 尾西 則昭 | 評価ありがとうございました。皆さんからいただいた評価を次年度に向けて実習や現場で活用できるように引き続き、工夫と改善に努めていきます。ありがとうございました。 |
| 乳児保育 I | 2 Q | 吉江 幸子 | 乳児保育 I を受講していただき、ありがとうございました。3歳未満児の保育が重視されています。今年は、育児休業を中心にゲストスピーカーによる話、その後のグループワークとポスター制作に取り掛かりました。そのような中で男女共同参画の意識と乳児保育に対する理解を深めることができたのではないかと思います。グループ内の相談は最初はぎこちなさがありました但最终盤は皆で相談し、他のグループとも整合性を図りながら進めていく姿をみることができました。 |
| 子育て支援 | 2 Q | 杉本 大輔 | 多くの批判受け手猛省しています。 |
| 基礎デザイン I (A) | 2 Q | 林 春生 | 作画説明の図が理解できない学生が居たようで、もっと簡単明瞭に改善します。 |
| デザイン概論 II | 2 Q | 赤木 良子 | 色々なテーマがあったにも関わらず皆さんは熱心に取り組んでおり感心しました。ありがとうございました。 |
| WEBデザイン III | 2 Q | 山腰 雅樹 | 回答を確認する限り概ね問題はなさそうではあるが、学生数が多くなると具体的な説明に要する時間が圧迫されてしまう為、授業外でも活用しやすい資料をもう少し増やしていく必要性を感じました。より分かりやすく、興味を持ってもらえるような授業内容にすべく改善していきます。 |
| CG技法研究 II | 2 Q | 北嶋 洋一 | 教材の進行確認方法を再検討すべきと思われる。 |
| インテリアデザイン II | 2 Q | 梅田 真紀 | 授業毎に制作の進捗を確認してフィードバックをするスタイルは、今後も継続したいと思います。改善点として、授業の確認事項をteamsで共有するなどして、タスクの明確化に努めます。 |
| キャラクターデザイン I | 2 Q | 三上 いずみ | 課題内容を新たに設定したが実験的な部分もあったのでさらに改善させたい。説明はパワーポイントを用いてわかりやすく進めているが、まだ不十分な部分もあるので改善していく。授業の振り返りとして発表・講評・展示を行ったことはよいフィードバックになったと感じるので今後も続けたい。 |
| インテリアデザイン II | 2 Q | 安藤 淳一 | 講義と見学会との授業時間のバランスの関係ですが、後半課題にかかる負担が大きいのをご意見承りました。この意見を参考に課題発表と提出日程を前倒しにするなど、次年度の改善に活かしたいと思います。 |
| 造形論 I | 2 Q | 松岡 龍介 | この科目は、将来、美術やデザインの専門家として社会で活躍しようとする学生が、在学中に最低限身につけてほしい、知識や、見方、感じ方について、毎回、テーマに沿ったレポートを制作することによって、書き言葉を含めた言葉として各自が“まとめ”の力を養うことを目的としています。したがって、内容は、広汎なテーマを設定します。また、本科目を受講するにあたり最低限の美術に関する用語の知識も必要になると思います。 |
| 保育内容演習 I (健康) | 2 Q | 宮崎 剛司 | 学生からの授業評価を拝見し反省すべき点が多いと思っております。今まで以上に十分な説明をすべくと同時に、個別的な対応が丁寧なすべくでした。 |

| | | | |
|-------------|-----|--------|---|
| 保育内容演習Ⅲ（環境） | 2 Q | 佐藤 慶知 | アンケートいただいた内容をもとに講義の充実を図ってまいりたいと思います。 |
| 保育内容演習Ⅳ（言葉） | 2 Q | 吉江 幸子 | 保育内容演習Ⅳ（言葉）を受講いただきありがとうございました。今回の授業では、言葉の発達を促す児童文化財としての絵本・紙芝居・ストーリーテリングを学びました。皆さんの手作り絵本、ぜひ実習で読み聞かせしてみてください。「先生が作った大切な絵本だよ」という言葉によって子どもの側にも、大切に聴こう、という姿勢がみられるはずです。子どもの言葉の発達を促し言葉によって伝え共有する大切な時期を担う保育士の役割が理解できたなら幸いです。 |
| 保育内容演習Ⅴ（表現） | 2 Q | 吉江 幸子 | 保育内容演習Ⅴ（表現）を受講していただき、ありがとうございました。今回は模擬保育という方法を取りながら、学生自身が保育士として表現してみる授業内容を展開しました。計画→実践→評価のPDCAサイクルを体験し、みなさんが気づいた点をお互いに伝え合い、自己反省としてメモする姿が印象的でした。40分間を自分が受け持つという責任もありますが、事前準備をしっかりすることで「慌てない対応」ができるということが学びに繋がりました。実習も、社会に出てからも、子どもの前でひとりで実践することになります、対応力を身に着けましょう。 |
| 建築士のための基礎数学 | 2 Q | 横山 哲也 | 学生が聞き取りやすい話し方の工夫を行う。 |
| 鉄筋コンクリート構造 | 2 Q | 長森 正 | 授業評価アンケートのご協力ありがとうございました。授業進行が速く理解不足のまま進んでいるとの意見があり、理解度の項目が低い評価でした。類似演習問題・課題などを改善し、理解度を確認しながら丁寧に進めていきます。 |
| 建築法規Ⅲ | 2 Q | 佐藤 善太郎 | 法規Ⅲは図解で説明する項目が多い単元ですが、一部の人にとっては図が（ヘタクソで）分かりにくいものになったようです。こちらも、プリントを配布して説明したり、工夫はしているのですが、次回からはより分かりやすい解説を心掛けます。 |
| 職業指導（M） | 2 Q | 伴 秀実 | 良い評価を頂きました。就職を目指して、仕事に就いてから更に自分を成長させ長い間社会のために役立つことの意味と意欲を醸成する授業です。実践に役立つ授業内容を心がけていきます。 |
| 建築設備Ⅱ | 2 Q | 君 興治 | 設備Ⅰよりももっと実務に入り込んだ授業としています。将来的に少しでも設備の知識や建物図面と設備の関連にふれておくことができればいいと思い、座学の授業でありながら作図する部分を多く取り入れています。今後は、もっと画像を多く学生に見せれるように教材を増やしていきたいと思います。 |
| 建築積算 | 2 Q | 佐々木 哲之 | 建築工事種別ごとに説明し、問題を解き解説する方法を取っている。そのため、学生の理解度を確認しながら授業展開をしていくので年度により単元の進度が変わることがある。設問6において「あまり適切でない」が6%あり、今後の課題である。 |
| 日本経済史（M） | 2 Q | 小林 大州介 | 第2Q、お疲れさんでした。また、アンケートにご協力ありがとうございました。皆さんのご協力のおかげで、良い講義になったと思いますが、まだまだ改善の余地はありそうです。今後も授業のブラッシュアップを図っていこうと思います、ご協力、よろしくお願いします。 |
| 日本経済史（S） | 2 Q | 小林 大州介 | 第2Q、お疲れ様でした。また、アンケートにご協力、ありがとうございました。皆さんの頑張りは結果に反映されていると思います。今後もこれに満足せずに、知識をたくさん吸収してください。 |
| 中小企業論 | 2 Q | 石山 玄幸 | 受講者から高い評価を頂いたことに感謝します。本講義は1年次の前期に開講していることから、経営の基礎を学ぶことを主としています。本講義の単位を取得できた学生は、次年度以降の専門科目に活かして頂けたら幸いです。 |
| 中小企業論（SP） | 2 Q | 石山 玄幸 | 受講者から高い評価を頂いたことに感謝します。本講義は1年次の前期に開講していることから、経営の基礎を学ぶことを主としています。本講義の単位を取得できた学生は、次年度以降の専門科目に活かして頂けたら幸いです。 |
| スポーツ心理学 | 2 Q | 佐藤 和裕 | スポーツ心理学に関して、理解してもらうことを意識し、授業の最後に必ず課題プリントを行い、授業の理解度を確認した。また、後半に視聴覚教材を活用したが、興味を持つようにもう少し工夫し改善していこうと思う。 |
| 経営情報論 | 2 Q | 野村 拓也 | 本講義では、毎回終盤に講義内容のまとめや感想を書いて提出してもらいました。読んでいて印象深かったのが、多くの方の思考力に成長が見られたことです。日常的に情報技術を経営の視点から深く考える習慣ができはじめてきたことは、大変嬉しく思います。一方で、全体で成長度合いに差が目立つ印象もありました。真摯に取り組めなかった方々は、ご自身の生活や考え方を見直すきっかけにいただければ幸いです。成績評価はその際の一つの参考にしてください。 |

| | | | |
|---------------|-----|--------|--|
| 経営情報論(SP) | 2 Q | 野村 拓也 | 本講義では、毎回終盤に講義内容のまとめや感想を書いて提出してもらいました。読んでいて印象深かったのが、多くの方の思考力に成長が見られたことです。日常的に情報技術を経営の視点から深く考える習慣ができてはじめてきたことは、大変嬉しく思います。一方で、全体で成長度合いに差が目立つ印象もありました。真摯に取り組みなかった方々は、ご自身の生活や考え方を見直すきっかけにいただければ幸いです。成績評価はその際の一つの参考にしてください。 |
| ミクロ経済学 | 2 Q | 河野 善文 | ホワイトボードへの板書に関して、マーカーのインクが薄くなることがあった、との意見がありました。インクはできるだけ新しいものを使用するように心がけていますが、教室のつくりの関係（ボードと座席の間がかなり離れている）で、見えづらいこともあると思います。今後は教室変更や座席を前につめるなどの対策も検討したいと思います。 |
| まちづくり論 | 2 Q | 松本 懿 | 学生の皆さんには、受講態度・レポート提出など総じて積極的に取り組んで頂き、スムーズに展開することができました。感謝しています。ただ、私自身の反省点として、シラバスの作成・説明、授業の進め方・話し方、板書、教材、授業への興味・関心や理解など全てについて、「適切ではない」「そう思わない」といった項目への回答がありました。更なる工夫を重ねたいと思います。 |
| 観光マネジメント論 | 2 Q | 五ノ井 壽一 | 私自身の体験も踏まえ、より理解力を高めるように相違・工夫します。 |
| 情報システム論 | 2 Q | 由水 伸 | 最新の内容を盛り込むため、教科書を使わないオリジナルな内容となっています。内容は国際的な資格検定の必要項目を考慮しています。そのため、学ぶ内容が多く、コンピューターに興味薄い人には辛かったかもしれませんが、興味のある人には面白い話もあったと思います。今回の授業を受けて、完全ではなくとも情報処理技術とシステムの全体像がつかめて「必要になったら自分で調べることができる」ようになったのであれば良いです。皆さんから頂いた意見は今後のシラバス作成に活かしたいと思います。 |
| コーポレートファイナンス論 | 2 Q | 鈴木 重政 | 教員としてレベルの高い内容の講義を心掛け、それに対して受講生は大変熱心に授業に臨んだとの印象を強く持ちます。 |
| 北海道産業史 (M) | 2 Q | 石山 玄幸 | 本講義は、限られた講義期間で北海道における産業史を学ぶことから、どうしても学生に提示する文章量が多くなってしまいます。次年度以降、資料として配布することも検討したいと思っています。 |
| 北海道産業史 (S) | 2 Q | 石山 玄幸 | 本講義は、限られた講義期間で北海道における産業史を学ぶことから、どうしても学生に提示する文章量が多くなってしまいます。次年度以降、資料として配布することも検討したいと思っています。 |
| ケーススタディ | 2 Q | 石山・信濃 | 当該講義は、経営学部の学生が学んだ経営の専門知識をフルに活用して、最終的に事業改善計画書を作成する内容です。本講義を受講して成果物を提出できた学生は経営学を理解していると言えるでしょう。ぜひ、社会人になっても、経営学の知識を活用して下さい。 |
| 人的資源管理論 | 2 Q | 高見 啓一 | おおむねほとんどの学生（回答者の95%以上）より、「適切」以上の回答をいただきました。ありがとうございました。評価のみならず「経営学検定（初級）」の合格者も複数人出ましたので、引き続き同じスタイルを基本としながらもより良い授業を作ってまいります。学生のコメントについても触れておきます。こちらについても好意的なご意見を多数いただきました。 ■「経営学に少しも興味がなかったがこの授業を通して経営学に興味湧き、それに関連する企業に就きたいと思うようになった。」 ■「中小企業診断士などの実際に働いている人の話を聞いてひまな時間の多い大学生のうちに勉強して、自分も中小企業診断士を目指してみようと思った」 ■「生徒のためになることを言ってくれました。外部の講師の方の話を聞く機会を提供してくれて、自分のやるべきことを示してくれました。」 ■「将来につながる授業だと感じた。」 ■「できれば一年生の時に履修しておきたい内容でした。」 ありがとうございます。ぜひこれからも意欲をもって経営系の資格や知識を学んでほしいと思います。お一人から進め方についてご指摘をいただきました。 ■「進捗度合いがわかりにくい、気づいたら次の教科書のページを先生が説明していると言うことが多々あるので次のページに進むときはそれをアナウンスしてほしい」 ページが変わる際はその都度伝えているつもりですが、伝えきれていないところもあったかもしれません。気をつけて配慮していきたいと思います。それと、賛否どちらかは分かりませんが、私の「煽り癖」に言及している学生もいました。上記のとおり、授業でよい影響を受けてくれている学生が多いので、煽りが響いてくれていれば幸いです。 |
| 地域情報論 | 2 Q | 猪尾 紀幸 | アンケートの中で「生徒の環境」について記載がありましたが、コロナ対策として座席指定した結果、場所によっては授業に集中しづらい状況となってしまった生徒も居たと思われる。次年度は、その点に特に配慮し座席指定や授業進行をしていきます。 |

| | | | |
|--------------|-----|-------|--|
| スポーツ文化論 | 2 Q | 細川 光法 | 出席カードで不正をする人の対策および、うるさい人の対策についてですが、来年度以降は座席を決めることやしっかり注意をすることで、真面目に聴いている人が不快にならないようにしていく所存です。 レジュメに関しては、来年度は事前にダウンロードできるようにします。皆さん貴重なご意見ありがとうございます。 来年度の履修者にはより分かりやすく、タイムリーな授業ができるよう精進いたします。 |
| スポーツ文化論 (SP) | 2 Q | 細川 光法 | 皆さん、ねぎらいのコメントどうもありがとうございました。 授業プリント(レジュメ)は来年度以降授業の前にダウンロードできるようにします。今後もより分かりやすく、タイムリーな授業ができるよう精進いたします。 |
| 体づくり運動 | 2 Q | 廣田 修平 | 体づくり運動の授業において「体ほぐしの運動」「体力を高めるための運動」について学んでもらいましたが、自分の体を動かしたり、他者と協力して動いたりする中で、楽しみながら運動を構成していくということを学習してもらえたと思います。また、グループに分かれ、模擬授業を行う経験を積むことで教員としての授業作りの工夫の仕方を学習してもらえたと考えています。 |
| 学校保健 | 2 Q | 天野 雅斗 | シラバスに関してはより授業に即した適切な説明になるよう修正していく。今後はテキストを購入してもらうよう指示をする。 |
| 生理学 | 2 Q | 黒川 泰任 | 医学は、病気の治癒を目指す臨床医学のみがいわゆる「医学」として見なされがちです。実際は、多数の人々の社会的健康を目指す「公衆衛生」や、病気を理解するためにヒトの正常機能を、生物学の側面から探求する「生理学」も大切な医学の一部です。というよりは、むしろこちら＝生理学がヒトの健康を追求することに関して言えば「医学の本質」です。多くの学生諸氏にとっては、運動を極めることが目標であり、ぜひとも選択・学習していただきたい生物科学の一分野です。 かつて、大学で「生理学」を学んだ経験はいつの日か必ず役に立つことでしょう。 |
| 衛生学及び公衆衛生学 | 2 Q | 宮崎 剛司 | 更に頻度の副詞が高められるように精進して参りたいと思っています。引き継ぎ、この科目を通して、在学中は勿論のこと将来、卒後にも役に立てる情報提供ができれば思っております。 |
| ビジネス倫理 | 2 Q | 遠藤 均 | 例年に比して、今年の講義内容は、かなり高度で、世間一般の常識を覆す深刻な内容を多々含んでいました。聴いていて辛かったことも少なからずあったことでしょう。それでも最後までついてきてくれたことに、心から深謝しています。これからも、国内のみならず、全世界の出来事にも強い関心と問題意識をもち、真実を見極めようと努めてください。そして、よりよい社会の実現に貢献しうる人材になってくれることを切に願っています。 |
| 教育課程論 | 2 Q | 西崎 毅 | 「授業満足度」は、「満足した」以上が98%、「熱意」は、「そう思う」以上が98%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が96%でした。「グループ学習を取り入れ他の人の考え方などを知ることができて良かったです。」「前に出て発表と言うことはいつも通りで、教員を目指す者としては良い予行演習になっている。また、授業で学んだ内容を発表に取り入れられたり出来るとても有意義な講義だった。」等の評価を励みに、授業の価値が理解できる意欲ある学生の学修需要に応えるべく、一層の授業改善に努めます。 |
| 教育方法論 (M) | 2 Q | 藤根 収 | 授業全体について、概ねよい評価をいただきました。一部授業の内容理解や時間配分などにおいて改善を必要とする部分もあったように思いますことから、今後さらに改善充実に努めてまいりたいと考えます。 |
| 教育方法論 (S) | 2 Q | 藤根 収 | 授業全体について、概ねよい評価をいただきました。一部パワーポイントの色使いや席の指定などについて意見もいただきましたことから、今後さらに改善充実に努めてまいりたいと考えます。 |
| 洋画 I | 前期 | 安田 祐造 | まだまだ配慮の足りない点も多くあると思いますので、少しずつ改善させたいと思います。 |
| 技法・材料研究 I | 前期 | 安田 祐造 | 毎回、とても前向きな人が多く僕も楽しく授業に取り組むことができました。これからもぜひ頑張ってください。 |
| 建築表現 I | 前期 | 安藤 淳一 | できる限り表現スキルを身につけていただきたいので、今後ともより多くの幅の広い表現手法を身につけられるかとの視点で改善し授業に臨みたいと思います。 |
| 建築表現 V | 前期 | 安藤 淳一 | ご意見ありがとうございます。2年生の建築表現ⅢとⅣについて、課題の内容を再検討したいと考えています。建築をデザインするための考え方やその表現とはは視点を見直しより適切な課題内容に取り組めるようを努めたいと考えています。 |

| | | | |
|--------------|----|--------|--|
| 精神疾患とその治療Ⅰ | 前期 | 伊東 隆雄 | この科目では精神医学や精神障害者の処遇の歴史を中心に、医療と福祉の横断的な内容を包括的に講義しました。試験の結果を見ると、概ね理解できていたと思います。教科書の記述だけでは理解が困難なところは、資料を配布して説明しました。今後も、テキストや配布資料を繰り返し読みながら、精神障害者の福祉のあり方を考えることができるようになることを期待します。 |
| キャリア支援演習Ⅰ（M） | 前期 | 遠藤 均 | 一部、注意を受けがちな学生がいました。座席指定にすれば、注意の回数は激減したことでしょう。しかし、今年をあえてそうしませんでした。その主な理由は、皆さんの自由を尊重したいということが一つ。もう一つは、そういう条件下で、一年の前半の内に、適切な授業態度とセルフコントロールを身につけてほしかったからなのです。だから、注意は、ただの注意ではなく、そのためのアドバイスのつもりでした。けっか、授業を重ねるにつれ、注意回数が通減していきましましたので、一定の成果があったと認識しています。ご協力、ありがとうございました。 |
| キャリア支援演習Ⅰ（A） | 前期 | 横山 哲也 | 学生が聞き取りやすい話し方の工夫を行う。 |
| キャリア支援演習Ⅰ（S） | 前期 | 横田 肇 | 一部低い評価があり、改善を図りたい。特に板書・パワポの評価はよかったが、理解度と興味・関心、満足度の間に乖離があり、これは私の説明の仕方に隙があり、伝え方に問題があったことを意味していると思う。また、自覚をしているが、ジェンダー他で差別的な表現があったという指摘があり、今後はさらなる自覚と表現への配慮に注意すべきことを実感している。いずれも次回は即改善を実行である。 |
| 日本画Ⅰ | 前期 | 岡 恵子 | *日本画に関わらずアートの授業は、先生の好みのものを描いて評価を上げるために作品を磨くものではないと思うので、「こうした方が評価が上がる」などは言わないで欲しい。このコメントについて回答します。言葉が適切でなかった点はお詫びします。どの学生に対しても、指導者の好みを押しつけたことはありません。各自の自由な選択と表現を応援しています。ただ、一般論としてより良い作品にするためのメソッドはあります。ご理解ください。 |
| 漫画Ⅲ（3年） | 前期 | 五十嵐・鴨 | 全体的に高評価でしたので今の授業の進め方を現状維持しつつ、限られた授業数の中で学生一人ひとりの能力に沿った指導をしっかりと行える方法を探っていきます。 |
| 彫刻Ⅲ | 前期 | 国松 明日香 | 受講生が多くコロナ禍の中感染防止のため教室を3カ所に分散して行った。全体に伝えたい話の場合、広めの教室に全員が集まり、十分な換気をして感染防止に努めながら行った。アンケートの回答に私の話が長くなりすぎて、制作時間が十分に取ることができなかったとの意見があり、講義と実技との時間配分に気を付けなければならないと感じた。留学生とのコミュニケーションが難しいときもあったため、解決のための工夫をしなければならないと感じた。 |
| イラストレーション基礎Ⅰ | 前期 | 佐藤 正人 | 1年生前半の授業と言う事で初めて触れるイラストレーションの内容も多かったかもしれませんが、興味を持ってイラストレーションの作品作りに対して取り組む姿も多く、満足のいく授業として感じてもらえたのは良かったと思います。学生の理解度を読み取りながら進めているが、満足いかない生徒がいたのは個々への配慮に気を配り気を付けて進めて行きたいと思います。 |
| イラストレーションⅢ | 前期 | 佐藤 正人 | 様々な事を学んで来た3年生の授業という事でより実践・応用的な事を学ぶ機会として授業の組み立ても考えて実施してましたが、多くの学生が満足いくと感じてもらえた事は良かったと思います。課題も学生にとって取り組みやすい内容となっていたと思うので、これからも個々の更なるスキルアップを目指せるよう授業内容も更に良いものにして行きたいと思います。 |
| 建築設計演習Ⅴ | 前期 | 佐藤 善太郎 | 一級建築士製図試験の過去問題レベルの課題でしたが、大箱の3階建で皆、エスキスに苦勞したようです。しかし、エスキス後の作図は4年生で尚且つ選択科目の製図を履修するだけあって、予想以上の出来栄でした。特に履修者の中にも作図精度が1級レベルの者も見受けられました。あとは、スピードです。 |
| 漫画Ⅰ | 前期 | 三上 いずみ | 前年度の授業改善アンケートを踏まえ、板書からパワーポイントでの説明に変更し、説明をよりわかりやすくした。また基礎を主体にして無理のないように技術のステップアップができるよう授業内容を整えた。さらに発表と講評を重視し、フィードバックに力を入れた。概ね高評価をいただいたように感じる。時間配分に関して、課題は無理のないものを設定したが、「あまり適切ではなかった」が5%の結果なので考慮したい。 |
| 社会科・公民科教育法Ⅰ | 前期 | 松下 守邦 | 前期週1回、1Q+2Qの授業期間でした。課題報告の割当の際、グループ全員の話し合いが自然にはじまるのが印象に残りました。シラバスをベースにしなが、履修学生の高い主体性に連動した授業構成、学習教材を精選していきたいです。 |

| | | | |
|---------------|----|-------|---|
| デジタルデザインⅠ | 前期 | 上坂 恒章 | 授業内容の興味に関して「そう思う」以上が100%、内容の理解度は88%、満足度は92%であった。演習科目であるので、昨年よりPCと該当ソフトの購入を推奨し、プリント配布などし、事前、事後学習により理解の向上を目指し進めているが、あまり定着していない感があるので、今後は小課題を含めた形に改善し進めていきたい。 |
| コンテンツデザインⅠ | 前期 | 上坂 恒章 | 授業内容の興味、関心で「そう思う」以上が96%、内容の理解度が77%、満足度が88%であった。事前、事後学習を含めた学びの質の向上のため、教科書を指定し、授業を展開してきたが、定着していない感がある。3年生対象であるため、学生の主体性、問題解決能力の向上を考え授業計画を進めているが、今後、個々の向上を目指して更に進めていきたい。 |
| イラストレーションⅠ | 前期 | 森迫 暁夫 | 自分自身、授業をしていて楽しめたとし、その反応はあながち見当違いでもなかったと思いました。が、満足できていない、静かな学生さんも居るのだな、と、感じました。十分配慮しているつもりですが、まだ足りないところもあるのだなあ。と思います。どんなことをどこまで。。ということは感じますが、考えて、臨みたいと思いました。 |
| 版画表現Ⅰ | 前期 | 森迫 暁夫 | 版画という授業は、まずは技術面がほとんどで、それを体験してもらおう。ということに特化して行きがちなのですが、それだけになると機械的になり面白くないのかな?と思い、授業をしています。結果、少し中途半端なモノにもなりがちな感じもして、でも、それでも良いと思ってましたが、アンケートをみて、もう少し具体的な結果(うまくいく。上手にできた)など、どうしても必要なことなのかな?と感じました。考慮しているつもりでしたが、また考えたいと思います。 |
| デッサンⅠ(A) | 前期 | 西田 陽二 | 全体的に上達している学生が多いように感じる。興味を示さない学生にはなるべく目標を低く定めるようにしたい。 |
| デッサンⅠ(B) | 前期 | 西田 陽二 | 全体的に上達している学生が多いように感じる。興味を示さない学生にはなるべく目標を低く定めるようにしたい。 |
| デッサンⅢ | 前期 | 西田 陽二 | 殆どの学生が集中してデッサンを描いている。上達も感じられる。 |
| 絵画Ⅰ | 前期 | 西田 陽二 | 油絵は全員初心者だったが、熱心に取り組みようやく絵の具に慣れてきた。 |
| 平面構成Ⅰ(赤木) | 前期 | 赤木 良子 | 前半部で作業時間が短かったというような意見があったので、後半は調整しましたが、次回からも引き続き、落ち着いて作業できる時間を確保したいと考えております。よろしくお願いいたします。 |
| 図学Ⅰ | 前期 | 赤木 良子 | 図面を書くという作業自体が、好き嫌い・向き不向きなどなど、苦勞もあったかと思いますが、大変静かに集中して作業できていました。思ったより時間のかかった課題がありましたが、なんとか終了できたのでよかったです。 |
| 球技Ⅰ(バスケボール) | 前期 | 天野 雅斗 | 設問2の話し方について、より学生が聞きやすい形に改善していきます。 |
| 球技Ⅱ(バレーボール) | 前期 | 天野 雅斗 | 教職課程の学生がより技術を上げれるような授業内容に改善していきます。 |
| ビジュアルデザインⅠ | 前期 | 田中 靖之 | 今期のビジュアルデザインー1は (1) 初期と最終課題が企画構想力を、(2) 小課題はレイアウトの基礎知識を重視 としています。商業デザインは、客観的な視野を持ちアート感覚あふれるビジュアル 表現が必要です。 サムネール段階でのチェックは十分ではなかったのですが、 各自の提出作品は、基本目標をほぼ達成できたと考えます。 |
| 社会科・地理歴史科教育法Ⅰ | 前期 | 渡部 斎 | これからも、講義内容を充実していきたいと思います。 |
| 工芸実習Ⅲ(島田) | 前期 | 島田 晶夫 | アンケートの結果を大変ありがたく受け止めています。学生一人一人に合わせた授業内容を心がけ、より「伝わる」内容になるよう考えて進めるようにしてきました。そういったところを評価してもらえたのではと大変嬉しく思っています。今後もより一層授業内容を検討し、知識、技術ともに向上してもらえる授業となるよう、工夫していきたいと思います。 |
| 工芸実習Ⅲ(楠本) | 前期 | 楠本 祐弘 | 初年度でもあり、シラバス作成時には、授業プランのイメージが想像で作成された。しかしながら、学生たちと進める内に予定していた事全て進めるには無理がありますので、生徒の製作状況に合わせて、変更しながら、様々なガラスの製作の基本技術の確認が出来たと思います。次年度は、もう少し実情にあった、シラバス作成にしたいと思います。 |
| 立体構成Ⅰ(A) | 前期 | 梅田 力 | 概ね良い評価を頂き、提出された課題の質も平均的に高かったように思う。昨年度からの改善点としては、ポートフォリオ作成用の時間を講義内にも組み込んでみたが、これは良かったのでは無いかと考えている。これに満足せず内容をブラッシュアップしていきたい。 |
| 立体構成Ⅰ(B) | 前期 | 梅田 力 | 概ね良い評価を頂き、提出された課題の質も平均的に高かったように思う。昨年度からの改善点としては、ポートフォリオ作成用の時間を講義内にも組み込んでみたが、これは良かったのでは無いかと考えている。これに満足せず内容をブラッシュアップしていきたい。 |

| | | | |
|-----------------|----|----------|--|
| 彫刻Ⅰ(2年) | 前期 | 梅田 力 | 概ね良い評価を頂いた。昨年度からの改善点としては、課題を2課題から1課題に変更し、課題で制作する作品のサイズを大きくしてみた。この点については手応えはあった。一方で初めての彫刻制作ということもあり、ペース配分がうまくできない学生がいたので、次年度からはもっと具体的な指示をしてあげるとより満足度の高い授業になると考える。改善していきたい。 |
| 彫刻Ⅰ(3年) | 前期 | 梅田 力 | 概ね良い評価を頂いた。昨年度からの改善点としては、課題を2課題から1課題に変更し、課題で制作する作品のサイズを大きくしてみた。この点については手応えはあった。一方で初めての彫刻制作ということもあり、ペース配分がうまくできない学生がいたので、次年度からはもっと具体的な指示をしてあげるとより満足度の高い授業になると考える。改善していきたい。 |
| 球技Ⅳ(フットボール)(2年) | 前期 | 米野 宏 | 今年度は2年生と3年生が一緒になったため、履修生が例年の3倍に増えた。そのため用具の不足が生じてしまい、計画通りにいかない点が多々あった。その中でも、比較的良好な評価をいただき恐縮である。 |
| 球技Ⅳ(フットボール)(3年) | 前期 | 米野 宏 | 今年度は2年生と3年生が一緒になったため、履修生が例年の3倍に増えた。そのため用具の不足が生じてしまい、計画通りにいかない点が多々あった。その中でも、比較的良好な評価をいただき恐縮である。 |
| キャリア支援演習Ⅰ(D) | 前期 | 北嶋 洋一 | スライド教材については、教室の明るさや投影距離に対する配慮が必要と感じた。次年度に向けて更新の必要がある。 |
| グラフィックデザインⅠ | 前期 | 北嶋 洋一 | 課題のプレゼンテーションについて、機会をもう数回設定すべきだったと思われる。講評に時間を掛けるべきだった。 |
| 映像表現Ⅰ | 前期 | 北嶋 洋一 | サンプル映像について、次年度へ向けての更新を考えている。最新情報が不足していた。 |
| 情報基礎演習Ⅰ(M-1) | 前期 | 由水・近澤・野村 | 本科目は、今年度より教材・課題の一新や、グループワーク、小休憩を設ける等の新たな試みを行ったが、回答内容から、受講生の学習ニーズに概ね応えることができたと判断している。特に自由記述では「良かった」「わかりやすかった」等の言葉が散見され、学習への動機づけの向上も一定の成果があったと思慮される。しかし、理解度は各学科と比べると低い傾向にあるため、教材の見直しなど、次年度に向け改善を図りたい。 |
| 情報基礎演習Ⅰ(M-2) | 前期 | 由水・近澤・野村 | 本科目は、今年度より教材・課題の一新や、グループワーク、小休憩を設ける等の新たな試みを行ったが、回答内容から、受講生の学習ニーズに概ね応えることができたと判断している。特に自由記述では「良かった」「わかりやすかった」等の言葉が散見され、学習への動機づけの向上も一定の成果があったと思慮される。しかし、理解度は各学科と比べると低い傾向にあるため、教材の見直しなど、次年度に向け改善を図りたい。 |
| 情報基礎演習Ⅰ(M-3) | 前期 | 由水・近澤・野村 | 本科目は、今年度より教材・課題の一新や、グループワーク、小休憩を設ける等の新たな試みを行ったが、回答内容から、受講生の学習ニーズに概ね応えることができたと判断している。特に自由記述では「良かった」「わかりやすかった」等の言葉が散見され、学習への動機づけの向上も一定の成果があったと思慮される。しかし、理解度は各学科と比べると低い傾向にあるため、教材の見直しなど、次年度に向け改善を図りたい。 |
| 情報基礎演習Ⅰ(S-1) | 前期 | 由水・近澤・野村 | 本科目は、今年度より教材・課題の一新や、グループワーク、小休憩を設ける等の新たな試みを行ったが、回答内容から、受講生の学習ニーズに概ね応えることができたと判断している。特に自由記述では「良かった」「助かりました」等の言葉が散見され、苦手意識の強い受講生に対しても一定の学習支援を行えたと思慮される。しかし、各設問において改善が必要だと回答した受講生も少数いることから、次年度に向け改善を図りたい。 |
| 情報基礎演習Ⅰ(D-1) | 前期 | 由水・近澤・野村 | 本科目は、今年度より教材・課題の一新や、グループワーク、小休憩を設ける等の新たな試みを行ったが、回答内容から、受講生の学習ニーズに概ね応えることができたと判断している。特に自由記述では「楽しかった」「わかりやすかった」等の言葉が散見され、学習への動機づけの向上も一定の成果があったと思慮される。しかし、習熟度が高い受講生が多かったため、上級レベル課題を用意する等、次年度に向け改善を図りたい。 |
| 情報基礎演習Ⅰ(A-1) | 前期 | 由水・近澤・野村 | 本科目は、今年度より教材・課題の一新や、グループワーク、小休憩を設ける等の新たな試みを行ったが、回答内容から、受講生の学習ニーズに概ね応えることができたと判断している。特に自由記述では「楽しかった」「わかりやすかった」等の言葉が散見され、学習への動機づけの向上も一定の成果があったと思慮される。しかし、教材提示装置の数、時間配分、カリキュラムについて、次年度に向け改善を図りたい。 |
| プロダクトデザインⅠ | 前期 | 林 春生 | 課題を細分化して、興味ややる気が続くように工夫します。又、技術的な事も学べるようにカリキュラムします。 |
| プロダクトデザインⅢ | 前期 | 林 春生 | 課題内容に改良を加えて、商品デザインに興味を持てるように工夫します。 |
| 保健体育科教育法Ⅰ | 前期 | 高井 雅一 | 学習指導要領を領域ごとに要点をプリントにまとめたものを使用し授業を進めた。また、二人一組での考える作業を多くすることで、自主的、積極的に取り組んでいた。学生には、授業参加の充実感があったのではと感じます。今後は、さらに工夫していきたい。 |